

令和3年度 第1回堺市堺区政策会議 意見まとめ

〔担い手の育成〕

- ・防災の取組を充実させるには、若い世代の参画も重要。そのためにも、健診やPTA・学校の授業で啓発を行うなど、**小中学生やその保護者を対象とした取組み**が必要。
- ・各校区での好事例を共有するなど**防災に関係する人や団体が集まり情報交換できる場**が必要。
- ・防災訓練を行うたびに気づきがあるので、気づきに対応した訓練を実施するなどマンネリ化を防ぐ訓練のリニューアルも必要。
- ・消防団制度がない堺区では、地域の防災のリーダーを育成していくことが重要。
- ・**各校区の自主防災組織において、防災の知識とスキルを持った人材を増やしていくことが必要**。

〔帰宅困難者対策（通勤・通学）〕

- ・**鉄道運休時は避難所等の安全な場所で運行再開を待つ**ていただくことが必要なため、**運行状況などの情報提供**や一時滞在施設等への誘導が重要。
- ・**大規模災害発生時の従業員の帰宅抑制**においては、防災マニュアルで行動基準を定めている。一方、待機後の帰宅経路が安全かどうかの情報をどのように収集するか、という課題もある。

〔観光客対策〕

- ・**外国人観光客等が災害時に迅速に情報を収集**できるように、外国人観光客が接する機会が多い鉄道事業者やホテル協会等と連携することが必要。
- ・ホームページやSNSの活用だけでなく、ピクトグラムでの周知も良い方法ではないか。

〔要支援者等への支援〕

- ・**単身高齢者の安否確認方法など、要支援者を支える取組**が必要。
- ・区内の特別支援学級等の子どもたちへの支援策も必要。

〔指定外避難所対策〕

- ・在宅避難の観点では、保存食だけでなく電源（ソーラーパネル、充電機）、簡易浄水器、アウトドアグッズ等の備蓄の呼びかけが有効ではないか。